

科研費研究会報告

強い相関をもつゆらぎの統計物理学
(第 2 回)

昭和 58 年度 文部省科学研究費 総合研究 A

研 究 会 報 告 書

課題番号 57340022

科研費総合A「強い関係をもつゆら
ぎの統計物理学」第2回研究会報告

研究代表者 九大理 川崎 恭治

上記科研班の第二年目に当り、班活動の一環としての研究会を昭和58年11月24日より26日まで伊豆稲取保養所に於て実施した。今回は昨年湯田研究会に欠席された分担者及び班外の方々を招いてシンポジウム形式で行った。ゆらぎの統計物理学の一つの重要な問題としてその幾何学的側面があり、今回はそこに焦点をあてた。数名の参加者の方々より、大変興味深い研究会であったとの言葉をいただいた。これが外交辞礼でない事を信じここでとり上げられた分野の今後の発展を期待したい。

この研究会会場の雑務は宮下精二氏及び鈴木研の院生、又事務は大田隆夫氏が夫々当られた。ここに感謝の意を表したい。

目 次

川崎 恭治(九大理)	はじめに
鈴木 秀次(東大理)	液体の転位模型
北原 和夫(静大教養)	線状欠陥のある系の幾何学と波動
斉藤 幸夫(慶応理工)	コンピューターガラス転移
上野 陽太郎(東工大理)	競合相互作用をもつ2次元イジングモデル
松原 史卓(東北大工)	ゆらぎによる磁性体の周期構造のくずれ
阿部 龍蔵(東大教養)	n -ベクトル模型の対相関関数に対する方程式
斯波 弘行(東大物性研)	不整合・整合相転移
池田 信行(阪大理)	確率解析と関連する諸問題
三村 昌泰(広大理)	生物モデルと反応拡散系
蔵本 由紀(京大基研)	不安定な周期構造のフェイズダイナミックス
吉森 昭夫(阪大基礎工)	固体表面におけるパターン形式
黒田 登志雄(北大低温研)	結晶の成長機構と成長形
沢田 康次(東北大通研)	ランダムな成長パターン
松下 貢(東北大通研)	コメント
鈴木 増雄(東大理)	秩序形成におけるスケーリング則及びトポロジカルな乱れにおける相似則とフラクタル
古川 浩(山口大教育)	クラスター成長における intermittence effect